

# Ephphatha!

## 開け!

ろう者の友に福音の光を

エパタ!

2026春  
第112号



### 「祈りの恵み」

山形神召キリスト教会  
布施和恵



2026年2月の信徒トレーニングスクールは「祈り」をテーマに行いました。きっかけは、あるろう者の方から、「祈りの時間になれば祈るのですが、祈りの言葉に限界を感じ祈りが早く終わってしまいます。祈り方、祈る言葉を教えて欲しいです。」という要望を受けたからです。

吉山宏先生著の『クリスチャン生活のしおり』に書かれた信仰の5原則にもあるように、クリスチャン生活には祈りが大切であることを教えています。祈りは、私たちが信じている神様との対話だからです。神様を目で見ることはできませんが、父なる神様は確かに聞いていて下さるのです。

聖書にはいろいろな祈りがあります。①主をほめたたえる、主を賛美する祈り(詩編103編1章1～2節)。②主に感謝する祈り(詩編106章1節)。③聖霊を歓迎する祈り(第Iコリント12章3節)。④罪の赦しを求める祈り(ルカ18章13節)。⑤家族、友人、知人の救いを願う祈り⑥病の癒しを求める祈り。その他にも束縛からの解放を願う祈り、霊的戦いに勝利する祈りなどがあります。

さらにクリスチャンは、自分が所属している牧師、伝道師その家族、教会のためにとりなしの祈りをささげます。そして自分のためにも祈ります。

弱さを感じる時や、宣教の思いを持つ時には聖霊に満たされるように求め、生活に不足がある時には、悩みを持つ時にはいろいろなことがらを打ち明け、解決を求め祈ります。なかなか答えられない祈りもありますが、クリスチャンは神様が定められた時に、祈りの答えを見せてくださると信じるのです。そして忘れてはならないのは、自分の願いとは違う答えがきても、神の計画であると受け入れる姿勢です。このように、祈りは私たちの生活に密接に関わっていることに気づかされます。

信徒トレーニングスクールに参加した方々に、あなたの願いは何ですかと尋ねました。すると全員が、自分の関わっている方々との関係を大切に、そこでイエス様のことを証ししていきたいと語って下さいました。信仰を継承していくことや、世代が違いすぎる若者を導くには課題がいろいろありますが、ろう者の方々にも熱い救霊の思いがあることが分かり、御名をほめたたえました。ろう者の方々には目から情報を受け取ります。彼らの学ぼうとするその眼差しはとても一生懸命で、彼らの姿に毎回感動を覚えます。「主の足元に座って、その話に聞き入っていた。」(ルカ10章39節)マリアの姿を思い起こすのです。

ろう者がおられない教会も多いと思いますが、アッセンブリー教団には150人以上のろう者がいます。神様はろう者たちの祈りを通して大いなる御業を見せてくださると信じます。彼らが大いに用いられるようお祈りをよろしくお願いいたします。

### 聖会とトレーニングスクールのレポート

2月10日の聖会では、明石キリスト教会の田辺敏治師より、お証を交えたメッセージが語られました。人に見せるために信仰を行うパリサイ人のようではなく、神様の前に正直で、へりくだった信徒であることの大切さが強調されました。その後、参加者から体験や意見が分かち合われました。

私たちろう者については、「障害を気にしてへりくだる」のではなく、「神様に与えられたアイデンティティを持ち、導きに従って歩いていくことが大切であ

る」とまとめられました。

11日にはトレーニングスクールが行われ、山形神召キリスト教会の布施和恵師より「祈り方、みんな知っているかい？」をテーマに語られました。祈りがすぐに応えられなくても信仰を捨てなかった聖書の人物たちの姿を通して、「神様の御心として受け止めることの大切さ」を教えられました。

また、参加者一人ひとりがビジョンを発表し、最後には手を取り合って祈る時間を持ち、恵みに満ちた学びのひとつとなりました。

## 「へりくだる」

明石キリスト教会

田辺敏治



「みな 互いに謙遜(けんそん)を身につけなさい。神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。

ですから、あなたがたは神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神がちょうど良い時にあなたがたを高くして下さるためです。

あなたがたの思い煩いをいっさい神にゆだねなさい。神があなたがたの事を心配して下さるからです。」 1ペテロ5:5-7

(聖書 新改訳©2003 新日本聖書刊行会)

### 1) 謙遜を身につけなさい。

日常生活において 私たちは家庭、職場、教会において人間関係の中で生活しています。元々、人間は皆 我を持っていますが、一人の時は何も思わなくても2人以上で交わる時、必ず相手の言葉や態度を見て自分の我が出てきます。その我の中で高ぶりが出てくるのです。この思いは神様が嫌うものです。

聖書には、みな謙遜を身につけなさいと書いてあります。身につけるとは、毎日 服を着るように我(服)という(服)をぬいで謙遜(服)を着るのです。神様は私たちがその様に歩む事を願っておられます。そうすれば神様が恵みを与えて下さると約束しておられます。イエス様の謙遜な姿は聖書の中で多く見る事ができます。私自身、十字架にかかる前、弟子たちの足を洗った姿の説教を見た時、はっきりと謙遜という意味を理解する事ができました。気持ちの余裕のない状態でも、イエス様は腰にタオルを巻き降ろしてイエス様自身の手で弟子の汚い足をゆっくりゆっくり洗うのです。まさに衝撃でした。

2)神様がちょうど良い時に高くして下さる(私達が神様と神様のみ言葉の下にへりくだる時) 神様はいつも私たちを見て下さっていて、最善のタイミングの時に私たちを神様の平安の中に入れて下さるのです。

### 3) 思い煩いをいっさい神にゆだねる

この世に生きてる限り誰もが心に不安、悲しみを抱えて、思い悩む事があります。でも心配は無用です。神様は「思い煩いを全てゆだねなさい。わたしがあなたを心配しますよ」と言っておられます。信仰者として頼れる、大きな恵みの言葉です。

2026年3/31をもって45年働いてきた職場を退職しました。働きながら伝道師として四苦八苦(しくはつく)しながら歩んできました。私は聴覚障害である中、コミュニケーションの壁など健聴者の職場で働く厳しさ、辛さを通して神様に何度も助けられて勤める事ができたと思います。

4年前、もう限界で仕事を辞めたいという試練にぶつかりました。組合に相談話を聞いてもらい、もうこれで退職か異動か？思った矢先に、職場の全ての健聴者が他の部へ異動になり、また私達に手話通訳者が設置され、今後社会復帰するための訓練として働く方を受け入れる職場(チャレンジド)となり、窮屈(きゅうくつ)から解放された職場へと なりました。それは、神様が動かして下さいました。健聴者のあ然とした顔は、忘れられません。神様に全てを打ち明け、自分をゆだねた時、神様がこの様に職場内を改善して下さいこの4年間は、職場で助け合いながら働くことができ、神様のみわざをほめたたえました。

力強い主に信頼してへりくだる時、そして思いを主にゆだねる時、主は必ず助けて下さいます。アーメン

## ろう者信徒聖書学校に参加して

徳島神召キリスト教会 吉岡久美

2026年2月10日から11日、ろう者信徒聖書学校に参加し、クリスチャン生活や教会について学ぶことができました。最初は内容が少し難しく感じられ、理解するまでに時間がかかることもありましたが、

しかし、講師の方からヒントをいただくことで、「わかった！」と感じる瞬間があり、学びが少しずつ深ま

っていきました。

その積み重ねによって、理解できる喜びを感じることができました。また、手話言語の大切さや便利さを改めて実感することができ、とても有意義な時間となりました。

今回の学びを今後の生活に活かしていきたいと思っております。そして来年もぜひ、ろう者信徒聖書学校に参加したいです。